

# 保育あき友

v.01.67

題字：故 小畑勇二郎 書（秋田県知事）

瓦版

令和7年8月29日



## 「子どもたちと歩む日々の中で」

秋田県保育協議会  
副会長 伊藤 育子

令和7年4月、秋田県保育協議会の副会長という大役を仰せつかり、はや4ヶ月が経ちました。思いもよらぬ重責に、今なお身の引き締まる思いで日々を過ごしております。これまで保育の現場に長く携わってきた身として、子どもたちの育ちに寄り添うことの尊さとその営みを支える仲間たちの存在にあらためて深い感謝の念を抱いております。

子どもたちと日々向き合う中で、ふと自らの幼い頃の記憶が蘇ることがあります。給食の時間になるといつも泣き出してしまう友達がありました。その友達の隣で「〇〇ちゃん、泣かないで。泣きながら食べると美味しくないよ。一緒に食べよう。」と先生と一緒に声をかけていたのが幼い頃の私でした。今思えばその体験が「人に寄り添うこと」の意味を教えてくれたのだと思います。保育という仕事に携わる中で子どもたち一人一人の小さな不安に気づき、そっとそばにいることの大切さをあの時の自分にあらためて教えられているような気がします。

遊びの中でのやり取り、友達との関係、保育者との信頼関係その一つ一つの積み重ねが子どもたちの心を育てていきます。そして時代がどれだけ変わっても子どもの思いに寄り添うという保育の本質は決して変わりません。

その一方で、現在の保育現場は多くの課題にも直面しています。猛暑による熱中症のリスク、鳥獣による被害、突発的な地震や豪雨などの自然災害、さらには様々な感染症への対応が必要となっています。こうした脅威から子どもたちを守るために、保育者にはこれまで以上に高度な判断と備えが求められています。

私たちは目の前にいる子どもを丁寧に見守り、命と安心のために日々危険の芽を逃さず的確に対応する力を培っていかねばなりません。そして、子どもたち自身が「自分の命を守る力」を育んでいけるよう、日頃から保育の中に自然とその力を根付かせていく必要があります。

少子化の進行により地域社会全体が大きな転換期を迎えています。しかしどんな時代であっても私たち保育者が子どもたちと保護者のために力を尽くす姿勢に変わりはありません。

「すべての子どもの最善の利益」の理念を胸に「こどもまんなか社会」の実現に向け一步一步前進していく時なのだと実感しています。現場の声を大切にしながら、地域・行政・家庭と手を取り合い、子どもたちの笑顔があふれる社会を築いていけるよう私自身も微力ながら尽力してまいります。

## 第 53 回 秋田県保育研究大会（南秋田） 参加者からの感想



### 「研究大会発表を終えて」



三種たつこの保育園  
保育士長 西村 優子  
副主任保育士 長内 幸子

保育研究大会が終わり、ほっと肩の荷を下ろしたのも束の間、次の研究に向けての日々が早くも始まっています。

研究大会の当番園に決まり、さらに2園の統合も控えていたため、果たしてうまく研究を進めていけるのだろうかと不安でいっぱいでした。しかし、何度も話し合いの場を設ける中で、子どもの姿に寄り添いながら保育の原点を見つめ直すことができました。

その結果、園同士が同じ方向性と目的を共有しながら研究を進めていくことができたと感じています。「わくわくみ～つけた！～子どもの心が動く環境の構成とは～」をテーマに、豊かな心を育むためにはどのような援助や環境の構成が必要なのか、日々の保育実践を通して研究を進め、その成果を発表させていただきました。

本番の会場では一緒に発表する他園の先生方とも親しくなり、グループ討議では活発なディスカッションが行われ、多くの質問もいただくなど、大変実りある大会となりました。

代表として参加させていただきましたが、その背景には日々支えてくれた職員一人一人の努力があり、皆で大会を迎えられたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の経験を活かし、「こどもまんなか」の視点を大切にしながら子ども達が安心して遊び、心が動くような環境づくりを探求しわくわくする保育園を目指していきたいと思ひます。



## 「保育研究発表を終えて」

ナーサリー小鳥の木

副主任保育士 佐藤 華奈

「園作り」を研究テーマに設定し、「円滑なコミュニケーション」と「保育力の向上」に重点を置き取り組んだ2年間。

職員一人一人の考え方の違いに戸惑うことも多くありましたが、何度も話し合い、傾聴、改善を重ねていく中で少しずつ変化が現れました。研究を終えた今では以前よりも職員同士の会話や笑顔が増え、物事を肯定的に捉える姿勢が見られるようになり保育の質の向上につながったと実感しています。

研究に取り組む上で大変なことはありましたが、園がひとつになって課題と向き合い、その取り組みをまとめる機会を得ることができました。また、たくさんの保育関係者の前で発表し自園の取り組みを知ってもらえたことは貴重な体験となりました。助言者の先生方をはじめ、他園の先生方からもあたたかい言葉をいただいたことで達成感を得ることができ、このような機会を与えていただけたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も一人一人思いの違いを認め合い心ひとつに手を取り合い、子どもたちがワクワクと心を弾ませてみんなが笑顔で過ごせる保育園になるよう、今後も「園作り」と向き合っていきたいと思います。

---

## 「保育研究大会を終えて」



岩谷 保育園

副主任保育士 加藤 美加

今回の研究発表にあたり、今の子どもたちにはどんなことが必要なのか、職員それぞれが意見を出し合いながら考える機会を作りました。

人とのつながりをもう一度探る意味で地域交流についてクローズアップし「豊かな心の芽を育もう」をテーマとして研究を進めていくこととしました。コロナ禍を経て再開された活動も、子どもたちのために何ができるのかをよく考えながら、一人一人の意見をしっかりと出し合って研究に活かしてきました。

発表原稿をパワーポイントで作成する際には写真を選ぶところから始まり、発表の練習会では同じ法人の先生方にアドバイスをいただきながら、話すペース、パワーポイントのタイミングを見て

もらい本番に備えました。当日も発表する際は緊張していましたが、皆さんの応援のおかげで無事に発表を終えることができました。貴重な体験を通して、より一層、一人一人の子どもたちの為に丁寧に寄り添い保育していきたいと感じました。参加させていただきありがとうございました。



### 「研究発表を終えて」

なかせんワイワイらんど  
保育教諭 藤原 義規

研究大会の発表にあたり、令和5年度から6年度にかけて同じ主題を設定し人間関係を捉えながら子どもの育ちを迫る研修を進めてきました。令和7年度から同地域の保育園と統合することも決まっていたため、今の子どもたちの姿から様々な人と関わることを喜んだり楽しんだりする為にはどんな環境の構成や保育者の手立てがあればよいかを考えた結果、子どもたちにどのような姿が見られ、育まれていくのかという視点で実践事例を検証してきました。そして、子どもたちの変容を2、3か月で振り返り、手立ての検証、見直し、環境の再構成をしていくことでPDCAサイクルの循環を感じることができました。

実践発表をするという経験が初めてだったので、取り組み方や資料のまとめ方などに四苦八苦し悩むことも多かったです。しかし職員間で何度も話し合い、様々な角度から意見を出し合いながら取り組むことができました。今回学んだ経験を今後も活かし、ワイワイと楽しい声が響く保育をしていきたいと思います。



### 「発表を終えて」

吉田 保育所  
主任保育士 大信田 知美

自園の研究発表の年度を知った当初、まさか自分が発表者になるとは思っていませんでした。その後、園内研修リーダーとして研修を進めていく中で、職員間でも子どもたちの遊ぶ姿について様々な声が聞かれるようになりました。幼児期の経験や学びは子どもたちの成長に大きく繋がっていきます。そのことを念頭におき、想像力や発想力の豊かな子どもを目指して研究を進めました。何度もつまづき悩み、そこから少しずつ発表へ向けての資料作成にも取り組んでいきました。その中で、職員同士のつながりや意見などを出し合える関係性の大切さを改めて感じました。さらに、園外の先生方からのアドバイ

スもとても有り難かったです。

発表時の緊張感は今までにないものでしたが、貴重な経験をさせてもらえたと思っています。講評の際には、自分たちだけでは気づくことのできなかつた研究内容の良かった部分を教えていただき、頑張ってきて良かったと嬉しく思った瞬間でした。また課題に向けて、これから先も子どもを真ん中にした保育を続けていきたいと強く感じました。



### 「研究大会発表を終えて」

皆瀬 保育園  
保育士 三浦 夏樹

「豊かな経験から多くを学ぶ ～異年齢保育における環境と援助～」をテーマに研究を進めてきました。どのように協議を進めていけばよいか最初は戸惑うこともありましたが、主任指導主事である佐藤伸剛先生のご助言と園の先生方の協力をいただきながら進めることができました。3・4・5歳児での異年齢保育は初の試みで活動の様子を全職員で定期的に参観をし、試行錯誤をしながら進めていきました。研究当初は「子どもたちが異年齢に慣れるにはどうしたらよいか」という考えで進めていましたが、研究を進めていく中で異年齢保育の中でも年齢ごとの生活、遊びができるように保障する必要があることに気づかされました。年齢ごとのねらいを立案し、子ども一人一人が無理なく遊びや活動に取り組めるようにすることで子どもたちは安心して異年齢と交流し、様々な活動にも意欲的に取り組めるようになりました。

発表に向けての準備などは大変な部分もありましたが、自分自身の保育を見直す良い機会になり、また他園の発表を聞くことで良い学びの機会となりました。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

## 秋田県保育研究大会 選考結果

先日、施設会員園にメールでの報告はありましたが、改めまして今回行われました「秋田県保育研究大会」のから、次の北海道・東北ブロック保育研究大会に進まれる園は以下の3園です。

第1分科会-①「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」

○能代市 轟保育園

第3分科会 「保育者の資質向上を図り、保育現場の魅力を発信する」

○大仙市 大曲南保育園

第 6 分科会 「家庭や地域との連携による食育の推進」

○にかほ市 勢至保育園

以上の 3 園が第「73 回 北海道・東北ブロック保育研究大会」に選出され、7 月 23・24 日に岩手県盛岡市で発表されました。

◆秋田県の代表としての研究発表 大変お疲れ様でした！！◆

## 常任委員会並びに各部会報告

### 令和 7 年度 第 1 回 常任委員会報告

【日 時】 令和 7 年 5 月 16 日(金) 15:00~17:00

【場 所】 秋田キャッスルホテル

【参 加 者】 会長・副会長・各部長・中央関連委員・事務局

#### 【協議事項】

(1) 役員の確認・顧問の委嘱について

資料を基に役員・常任委員・協議員の継続・変更等を確認する

顧問は 3 名（伊藤彦舟 先生・今野真保 先生・岸登 先生）に委嘱することと決定する

(2) 令和 7 年度各事業部計画について

合同部会にて説明された各部会計画の他、協議を要する案件について意見交換する

○運営研究部、日本保育協会支部長より

令和 7 年度 社会福祉法人日本保育協会 北海道・東北ブロック役員・会員及び女性部青年部合同研修会、秋田大会および併催する園長セミナーの概要（開催要項案）を説明し確認を求めた

○総務部より

共創プロジェクトの進捗について説明し確認を求めた

●他部連携について協議

- ・ 県保育協議会ホームページの在り方、運営方法
- ・ 全国私立保育連盟 全国調査部長会議への輩出可否
- ・ 保育研究大会助言者ルールの可能な限りの明文化検討
- ・ 青年部存続に向けた手立て（年齢上限の是非）

・ 常任委員 情報共有ツール

(3) 傷害治療見舞金の承認について  
役員確認の上、承認となる

(4) その他

・ 6月 協議員会開催日案の決定

---

## 総 務 部

### 【今年度の計画】

- ☆ 会則・規程の情報発信及び内容検討
- ☆ 災害互助制度及び地域交流事業の活用の推進
- ☆ 予算の執行状況の把握、各部会の活動に向けての支援
- ☆ 総会開催の準備

### ○ 共創プロジェクト

#### 【今年度の計画】

- ① 秋田県内郵便局・秋田県警・秋田県保育協議会 こどもの見守り三者連携協議会の実施
- ② 秋田県保育協議会・秋田県内保育者養成校連携協議会の実施
- ③ 上記実施に向けた協議の継続開催

#### 【実施した部会】

##### 総務部 第1回（合同部会）

日時：5月16日（金）13：30～15：00

場所：秋田キャッスルホテル

内容：部長、副部長選出

- ・ 令和7年度事業推進について
- ・ 総務部職務分掌の確認（前年度引継ぎ事項含む）
- ・ 共創プロジェクトの説明

### ○ 共創プロジェクト

第1回 日時：令和7年5月29日（木）14：00～15：00

場所：WEB開催

内容：共創プロジェクト 事業協議

- ・ 聖園学園短期大学様×聖霊女子短期大学様 連携事業（園内研修）

期間：令和7年3月25日（火）～4月4日（金）

内容：研修施設と担当校とのオリエンテーション実施

期間：令和7年5月15日（木）～5月19日（月）

内容：研修施設 年間計画の提出

※以降、各施設で年内2回の講師招聘による園内研修の実施

・ 聖園学園短期大学様×聖霊女子短期大学様 連携事業（園長シンポジウム・保育研究発表）

・ 聖園学園短大 園長シンポジウムの開催

日時：令和7年6月27日（金）13：30～15：00

場所：校内マリアホール

・ 聖園学園短大 保育研究発表の展開

日時：令和7年7月4日（金）13：30～15：00

場所：校内マリアホール

・ 県保育協議会・日本郵便・秋田県警 こどもの見守り三者連携協議会

日時：令和7年6月20日（金）14：00～16：00

場所：秋田県社会福祉会館 8階合同研修室

内容：本協議会趣旨の共通理解、各自活動の説明および依頼事項の確認、三者協議  
記者会見による本協議会意義の発信

#### 【今後の部会予定】

##### 第2回

日時：8月中

場所：県保育協議会 会議室

内容：令和7年度前期 各部事業進捗状況、予算執行状況の確認

第2回常任委員会への準備およびスケジュール

地域交流助成、災害互助制度の状況確認

#### ○共創プロジェクト

聖園学園短期大学様×聖霊女子短期大学様 連携事業（園長シンポジウム・保育研究発表）

聖霊女子短大での保育研究発表・園長シンポジウムの開催

日時：令和7年9月18日（木）

13：05～ 保育研究発表（轟保育園）

会場：聖霊女子短期大学様内

14：00～ 園長シンポジウム（轟保育園 園長 九嶋 洋子

さんない保育園 園長 畠山 尚宏）

### 【部からのメッセージ】

長年、広報部（民保協では調査広報部）と青年部（引き続き部員）に所属してきましたが、総務部は初めてお役目をいただいた部署となります。

昨年度まで担っていただきました畠山先生のようには当然できませんが、部員一丸となってひとつずつ勉強し成長していくことを目指します。

県保育協議会が会員の皆様にとって大切な組織であるとより一層認識されることはもちろん、運営に必要な役員側もやりがいを感じて担うことができ、組織方針が円満に遂行されるよう務めてまいります。令和7年度も総務部へのご理解ご協力よろしくお願いいたします。

横手市 明照保育園  
(総務部長 津村 侑弥)

県保協HPから各申請書がダウンロードができます！  
～詳細は総会資料かホームページをご覧ください～

#### 災害互助制度について

会員園がお互いに助け合いの精神によって災害互助制度を設け、保育活動の充実に寄与することを目的としています。園内外の保育活動中はもちろんのこと、園児の登降園中や職員の通勤途中の事故に対し、被災者にお見舞金を給付する制度です。

死亡見舞金請求は死亡後1ヶ月以内、傷害治療見舞金請求は治療完了後1ヶ月以内、自然災害見舞金請求は災害発生後1ヶ月以内か災害復旧後1ヶ月以内となっております。  
(基本1ヶ月以内)

これからも皆さまにとって活用しやすい制度を目指してまいりますので、お気づきの点がありましたら事務局までお寄せください。

#### 地域交流助成事業について

会員園同士が個々の活動を超え、2か所以上の施設が連携して行う保育活動、近隣に交流する保育施設が無い場合であって、会員施設が単独で地域との交流を図るための事業に対し助成するものです。R7年度総会資料申請書に以下の項目を設けましたのでご確認願います。①地域内での教育・保育施設の存在や活動をアピール ②地域との交流（他施設や世代間交流を含む）③幼保小の接続の観点から、同じ小学校に就学する園児の交流を対象とします。申請は事業開始1ヶ月前まで、報告は助成事業完了後1ヶ月以内に本会長あてに提出してください。事業完了後1ヶ月以内に年度末となる場合は、3月20日までの提出となります

#### 災害互助・地域交流活用状況 (R7.7.14 更新)

##### 災害互助制度

傷害治療見舞金・・・7件

6級—2件 7級—1件 9級—4件

自然災害見舞金・・・0件

地域交流事業・・・3件

## 研 修 部

### 【今年度計画】

- ☆第34次保育士等研修会（年3回継続研修）
- ☆保育カウンセリングセミナー
- ☆保育の質を高める研修会

### 【実施した部会】

- 合同部会      日時：5月16日（金）13：30～15：00  
場所：秋田キャッスルホテル  
内容：正副部長選出、今年度の事業について 等
- 第1回      日時：5月29日（木） 14：00～14：50  
場所：保育協議会 会議室・WEB併用  
内容：・年間計画と役割分担について  
・第34次保育士等研修会について  
・令和8年度 北海道・東北ブロック保育協議会  
保育指導者セミナーでの講演の講師について
- 第2回      日時：6月10日（火） 16：00～17：30  
場所：保育協議会 会議室  
内容：・保育のすてっぷワン研修会の反省  
・子どもにかかわる人にとって大事なこと研修会について  
・令和8年度 北海道・東北ブロック保育協議会  
保育指導者セミナーでの講演の講師について
- 第3回      日時：7月8日（火） 16：00～17：00  
場所：保育協議会 会議室・WEB併用  
内容：・子どもにかかわる人にとって大事なこと研修会の反省  
・保育の質を高める研修会について  
・木に親しみ、学ぶ、木育体験研修会について
- 第4回      日時：8月7日（木） 14：00～15：00  
場所：WEB開催  
内容：・保育の質を高める研修会について  
・木に親しみ、学ぶ、木育体験研修会について 等

- 第5回 日時：8月21日（木） 16：15～17：00  
場所：キャッスルホテル  
内容：・保育の質を高める研修会の振り返りについて  
・保育カウンセリングセミナーについて  
・木に親しみ、学ぶ、木育体験研修会について 等

【今後の部会予定】

- 第6回 日時：2月中旬  
場所：保育協議会 会議室またはWEB開催  
内容：・今年度の反省

【部からのメッセージ】

部員改選となり新メンバーが加わりました。

保育現場の声に耳を傾け、ニーズに添った研修を実施できるよう努めてまいります。今後とも活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

秋田市 ウェルビューいずみこども園  
(研修部長 飯田 裕美子)

---

## 研究大会部

【今年度計画】

☆第53回秋田県保育研究大会

【実施した部会】

- 第1回 日時：5月16日（金）  
場所：秋田キャッスルホテル  
内容：合同部会  
・部長選出・今後の部会の予定について
- 第2回 日時：7月30日（水） 13：30～15：00  
場所：WEB開催  
内容：第54回秋田県保育研究大会について
- 第3回 日時：8月28日（木） 13：30～15：00  
場所：WEB開催  
内容：研究大会当番地区の引き継ぎ

### 【今後の部会予定】

- 第4回 日時：1月中旬予定  
場所：保育協議会 会議室  
内容：第54回 秋田県保育研究大会について

### 【部からのメッセージ】

第53回 秋田県保育研究大会に携わっていただいたすべての皆様、また、研究大会に参加していただいた皆様本当にありがとうございました。そして各施設長様におかれましては職員の皆様を参加させていただき感謝申し上げます。来年度、第54回大会も皆様にとって充実した時間になるよう部員一同精いっぱい頑張ります。なお、令和8年度からカテゴリー（テーマ）が変わります。それに伴い分科会が5つとなりました。各園においてテーマを確認していただき発表する分科会をお知らせください。

今後とも研究大会部へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

由利本荘市 本荘中央こども園  
(研究大会部長 齋藤 奈緒美)

---

## 運営研究部

### 【今年度計画】

- ☆園長セミナー開催
- ☆調査と研究に加え他部との連携

### 【実施した部会】

- 第1回 日時：4月14日（月） 13：00～14：00  
場所：WEB開催  
内容：園長セミナー講師について  
懇親会内容について（アトラクション等）
- 第2回 日時：5月12日（月） 10：00～13：30  
場所：あきたコドモの森（施設見学）  
内容：園長セミナー講師選考について
- 第3回 日時：5月16日（金） 13：30～  
場所：秋田キャッスルホテル  
内容：合同部会  
・部長・副部長の選出について  
・令和7年度事業計画について

○第4回 日時：6月18日（水） 13：00～15：00  
場所：WEB開催  
内容：園長セミナーについて

○第5回 日時：8月25日（月） 13：30～15：00  
場所：WEB開催  
内容：園長セミナーについて

【今後の部会予定】

○第5回 日時：9月上旬  
場所：保育協議会 会議室  
内容：園長セミナー最終確認等

【部からのメッセージ】

日頃より運営研究部の活動に対しご理解とご協力を頂き心より感謝申し上げます。

園長セミナーにつきましては、日保協北海道・東北ブロック秋田県大会と共同開催となります。懇親会も計画しておりますので、情報交換、親睦を深める良い機会だと思います。沢山の参加をお待ちしております。また他部との連携につきましては、青年部との研修会の開催に向けて動いております。その他にもその時に求められる内容の調査があれば実施して行きたいと思っております。

会員施設の皆さまにひとつでも多くの情報提供ができるように部員一同努めてまいりますので今後ともよろしく願いいたします。

にかほ市 ひまわり保育園  
(運営研究部長 吉川 誠治)

---

## 広 報 部

【今年度計画】

- ☆広報誌『保育あきた』の発行
- ☆年2回の『瓦版』の発行
- ☆必要に応じ、組織内や関係機関との連携を図り情報を提供する

【実施した部会】

○合同部会 日時：5月16日（金） 13：30～  
場所：秋田キャッスルホテル  
内容：合同部会  
・部長・副部長の選出について  
・令和7年度事業計画について

○第1回 日時：6月26日（木） 13：30～15：00  
場所：WEB開催  
内容：今年度の事業（年間計画）について  
『保育あきた』瓦版の内容について  
役割分担について  
その他

○第2回 日時：7月29日（火） 13：30～16：30  
場所：保育協議会 会議室  
内容：瓦版の修正作業  
今後の日程について

○全私保連 署名活動作業（民間広報部員）  
日時：8月18日（月）  
場所：保育協議会 会議室  
内容：署名活動の発送作業

【今後の部会予定】

○第3回 日時：10月上旬予定  
場所：WEB開催  
内容：瓦版（12月）発行前の確認

【部からのメッセージ】

日頃より広報活動へのご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今年度より新しいメンバーも加わりました。

今後も会員園の皆様にとって有意義な情報発信となるよう部員一同頑張っております。

由利本荘市 子吉保育園  
(広報部長 川嶋 博英)

---

## 青年部

【今年度計画】

☆青年部研修会の企画および運営

☆他部との連携の推進

☆青年部および県組織の魅力および情報の発信

- ☆人材発掘および部員確保のための継続的な取り組み
- ☆全国組織（全保協、日保協、全私保連）の活動への参加

#### 【実施した部会】

合同部会 日時：5月16日（金）13：30～15：00

場所：秋田キャッスルホテル

内容：正副部長選出、今年度の事業について 等

第1回 日時：5月30日（金）13：30～17：00

場所：保育協議会会議室

内容：常任委員会報告、令和7年度の事業について

「研修内容に関するニーズ調査」の集約について 等

第2回 日時：8月8日（金）13：30～17：00

場所：保育協議会会議室・WEB併用

内容：青年部研修会について

日保協青年部全国大会・全私保連青年会議について 等

#### 【今後の部会予定】

第3回 日時：9月中旬予定

場所：WEB開催

内容：今後の活動について

#### 【部からのメッセージ】

昨年度より各所でPRしてまいりました「第46回全国青年保育者会議宮城大会」（日本保育協会青年部主催）を目前にしており、秋田県支部でも役割担当について準備が佳境となっております。大会に申込まれた皆さまありがとうございました。

昨年度中に実施しました他部との連携の取り組み（運営研究部との合同部会）については今年度も継続して行い、その歩みを確実に進めてまいります。

青年部としての活動内容や魅力の発信ならびに人材発掘に関して、部内で協議を進めております。また、業務効率化に資する研修会の企画も進めている最中です。目に見える形で会員の皆さまへ発信・還元してまいりますので、今後も青年部の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

横手市 旭保育園  
（青年部長 伊藤 昌人）

# 令和7・8年度 秋田県保育協議会 役員名簿

## 秋田県保育協議会役員 (令和7・8年度)

顧問	岸 登(湯沢乳児保育園) 伊藤彦舟(えみの森) 今野真保(明星こども園)
会長	大友潤一(やまばと保育園)
副会長	阿部清美(八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子(轟保育園) 上村清正(あおぞらなないろ園) 高橋大成(沼館保育園) 岸大助(湯沢こども園) 長浜中(大湯こども園) 伊藤育子(おがちこども園)
監事	藤井みはと(中央保育園) 利部葉子(寺内保育所)
事務局	鈴木文子・矢作理紗(保協/庶務・会計) 今野利歌子(保育士会/庶務・会計)

## 秋田県保育協議会 常任委員 (令和7・8年度)

会長	大友潤一(やまばと保育園)
副会長	阿部清美(八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子(轟保育園) 上村清正(あおぞらなないろ園) 高橋大成(沼館保育園) 岸大助(湯沢こども園) 長浜中(大湯こども園) 伊藤育子(おがちこども園)
総務部長	津村侑弥(明照保育園)
広報部長	川嶋博英(子吉保育園)
研修部長	飯田裕美子(ウェルビーイングこども園)
研究大会部長	齋藤奈緒美(本荘中央こども園)
運営研究部長	吉川誠治(ひまわり保育園)
青年部長	伊藤昌人(旭保育園)
日本保育協会:支部長	上村清吾(あおぞら幼稚園連盟認定こども園)
女性部長	相場美佐子(大野保育園)
青年部長	伊藤昌人(旭保育園)
全国私立保育連盟:支部長	岸大助(湯沢こども園)
予対部長	高橋大成(沼館保育園)
青年部長	伊藤隆将(ときわベビー&キッズ)

中央組織	全国保育協議会	顧問	岸 登(湯沢乳児保育園)
		協議員	大友潤一(やまばと保育園) 民 長浜中(大湯こども園) 公 伊藤育子(おがちこども園) 保育士会
		支部長・財務部長	岸大助(湯沢こども園)
	全国私立保育連盟	顧問	伊藤彦舟(えみの森)
		調査部	津村侑弥(明照保育園)
		予算対策会議副議長	上村清正(あおぞらなないろ園)
		予対部長	高橋大成(沼館保育園)
		予対部員	吉川誠治(ひまわり保育園)
		青年部長	伊藤隆将(ときわベビー&キッズ)
		青年副部長	畠山尚宏(さんない保育園)
		支部長	上村清吾(あおぞら幼稚園連盟認定こども園)
		過疎地域保育対策委員	九嶋洋子(轟保育園)
		青年部長	伊藤昌人(旭保育園)
	青年副部長	吉川 壮(日の出ベビー保育園)	
	女性部長	相場美佐子(大野保育園)	
女性副部長	猪股和子(石沢保育園)		

## 秋田県保育協議 会協議員 (令和7・8年度)

会長	大友潤一(やまばと保育園)
副会長	阿部清美(八幡平なかよしセンター) 九嶋洋子(轟保育園) 上村清正(あおぞらなないろ園) 高橋大成(沼館保育園) 岸大助(湯沢こども園) 長浜中(大湯こども園) 伊藤育子(おがちこども園)
鹿角地区	吉田正恵(あおぞらこども園) 公立
北秋田地区	本多美代(大館乳児保育園) 民間
山本地区	高橋さおり(能代市第一保育所) 公立
南秋田地区	太田真樹美(船越こども園) 公立
秋田市	上村清正(あおぞらなないろ園) 民間
由利地区	齋藤晴美(亀田保育園) 民間
仙北地区	高橋朝子(大曲駅前こども園) 民間
横手地区	遠山一栄(みりの保育園) 民間
湯沢地区	岩川明子(いわさきこども園) 民間

## 専門部員名簿 (令和7・8年度) (注)◎は長、○は副

部会	主な活動	部員
総務部	★会則・規程の検閲見直しおよび内容検討 ★災害互助制度及び地域交流事業の活用 ★予算の執行状況の把握、各部署の活動に向けての支援 ★総会開催の準備	高橋 敦子(鷹田保育園) 大館市公 佐々木真理(第一ルビニ公園) 秋田市民 ○菅原 理文(めんば認定こども園) 秋田市民 佐々木真貴子(本荘保育園) ****市民 佐藤ルミ子(藤本保育園) 大仙市民 ◎津村 侑弥(明照保育園) 横手市民 伊藤昌人(旭保育園) 横手市民
	8名 《担当副会長・阿部 清美》	
広報部	●共創プロジェクト ●市内新聞、雑誌、保育協議会などでの見守り活動推進協議会の実施 ●秋田県保育協議会・県内保育事業者協議会連盟協議会の実施 ★上記実施に向けた協議の継続開催	大友潤一(やまばと保育園) 秋田市民 川嶋博英(子吉保育園) ****市民 岸大助(湯沢こども園) 湯沢市民 伊藤昌人(旭保育園) 横手市民 阿部清美(八幡平なかよしセンター) 横手市民 畠山尚宏(さんない保育園) 横手市民 鈴木直子(にこにここども園) 仙北市民 大澤 藤子(仙南すこやか園) 美郷町公 南部 芳道(金沢保育園) 横手市民 高橋ひろみ(にしなないこども園) 羽後町民 ◎飯田裕美子(ウェルビーイングこども園) 秋田市民 田松 裕子(ナーサリールージュ) 秋田市民
	9名 《担当副会長・岸 大助》	
研修部	★第34次保育士等研修会(年3回継続研修) ★保育者カンファレンスセミナー ★保育の質を高める研修会	駒野谷 範子(わかこ第一保育園) 秋田市民 大日向まゆみ(黒瀬すこやか保育園) 秋田市民 佐藤 藤子(河辺保育所) 秋田市公 ◎龍元 千恵(石橋西保育園) ****市民 堀内 朋子(角間川保育園) 大仙市民 戸部 珠枝(下鍋倉保育所) 横手市民 沼倉 幸子(おがちこども園) 湯沢市民
	10名 《担当副会長・九嶋 洋子》	
研究大会部	★第93回秋田県保育研究大会	山谷 寿代(花輪にこ保育園) 鹿角市公 ◎庄司 友美(しゅらーむ) 北秋田市民 高山結華子(雫丘保育園) 三穂町公 ◎齋藤奈緒美(本荘中央こども園) ****市民 高橋文子(三重保育園) 横手市公 ◎大石久美子(ますだ保育園) 横手市公 恩田美加子(おがちこども園) 湯沢市民
	11名 《担当副会長・長浜 中》 《担当副会長・伊藤 育子》	
運営研究部	★部長セミナー開催 ★他部との連携 ★その時に求められる内容の調査・研究	◎北 嶋 謙介(八幡平たいようこども園) 八幡平市民 相場美佐子(大野保育園) 秋田市民 上村 清吾(あおぞら幼稚園連盟認定こども園) 秋田市民 福田 恵嗣(こひつじ保育園) 秋田市民 ◎吉川 誠治(ひまわり保育園) にかほ市民 橋本由紀子(角館こども園) 仙北市民
	7名 《担当副会長・高橋 大成》	
青年部	●公定価格検討委員会 ●年数回の委員会開催により公定価格への理解を促す ★全県的な保育事業者連絡会により保育士等研修会を併せて開催する	北嶋 謙介(八幡平たいようこども園) 八幡平市民 畠山尚宏(さんない保育園) 横手市民 福田 恵嗣(こひつじ保育園) 秋田市民 奥山 浩太(浜舞感思保育園) 横手市民 吉川 壮(日の出ベビー保育園) 大仙市民
	7名 《担当副会長・上村 清正》	

## 編集後記

暑い日が続いた今年の夏でした。ただ、個人の感覚ですが昨年よりも猛暑日が多かった夏だったように感じます。あまりの暑さに戸外遊びを控える日もありました。

加えて熊への警戒が昨年より一層されるようになりました。熊の出没は決まった地域の事と捉えていましたが今は秋田県内全域に熊出没警報が出されている状態です。

こちらに関しては警戒態勢をいくら強化しても難しく対策のしようがないのが現状です。

そんな中でも子ども達は元気に過ごしておりそれを支える職員達も自ら日々の保育を楽しみながら、より良い保育の提供を目指してくれている姿を見ると救われる気持ちになります。まだまだ暑い日が続きます。くれぐれも体調に気を付けて元気にがんばりましょう。

発行にあたり、お忙しい中寄稿いただきました皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。(H.S)

## ★ 広 報 部 ★

担当副会長 岸 大 助 (湯沢市 湯沢こども園)

部 長 川 嶋 博 英 (由利本荘市 子吉保育園)

副部長 佐 川 ひ と み (秋田市 幼保連携型認定こども園 ふじ)

” 大 門 ヒ サ 子 (秋田市 こどものくに保育園)

部 員 南 部 芳 道 (横手市 金沢保育園)

” 鈴 木 直 子 (仙北市 にこにここども園)

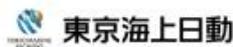
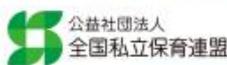
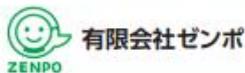
” 菊 池 美 和 子 (藤里町 藤里保育園)

” 大 澤 陽 子 (美郷町 仙南すこやか園)

” 高 橋 ひ ろ み (羽後町 にしもないこども園)



## 【全私保連推奨】各種団体保険制度



### ほいくのほけん・こどもえんのほけん

保育施設向け 4月1日～1年間（中途加入可能）



「園賠償責任保険」「園児団体傷害保険（学校契約団体傷害保険）」  
「職員団体傷害保険（総合生活保険）」など、保育施設における最大  
リスクを補償する1番の主力保険制度です。

### やくいんのほけん

社会福祉法人向け 8月1日～1年間（中途加入可能）



社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクやマスコミ対応費  
用等のレピュテーションリスクに加えて、雇用関連トラブルによる法人  
への賠償リスクもオプション付帯可能な保険制度です。

### えんじのほけん

在園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）



「園内外問わず24時間お子さまをお守りする傷害保険」「扶養者に万が一  
の場合の育児費用補償」など手厚い補償内容に加え、一般的な保険商品  
と比較して約65%の割引となっているため非常に割安な保険制度です。

### しょうがくせいほけん

卒園児向け商品 4月1日～自動更新（中途加入可能）



24時間のおケガ等からお守りに加えて、学校からの貸出タブレットを  
含め個人賠償責任保険など卒園後のリスクを補償します。本商品も一般的  
な保険商品と比較して約30%の割引となっているため割安な保険制度です。

取扱  
代理店

**有限会社ゼンポ**  
TEL: 03-3865-3881  
FAX: 03-3865-2806



引受  
保険会社

**東京海上日動火災保険株式会社**

担当課支社：公務二部 文教公務室 TEL: 03-3515-4134

このご案内は賠償賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約賠償責任保険・会社役員賠償責任保険・レピュテーション費用保険（レピュテーション費用特約乗付）費用・利益保険・雇用関連賠償責任保険の概要・団体総合生活保険（児童保険）の概要についてご紹介したものであり、全ての事項を記載しているものではありません。保険の内容は各保険制度のパンフレットをご覧ください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。保険は契約者である公益社団法人全国私立保育連盟にお申し込みする保険契約により決まりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。

連絡先



公益社団法人全国私立保育連盟指定／東京海上日動火災保険株式会社代理店

**有限会社ゼンポ**

TEL **03-3865-3881**  
FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

無制限の動画や写真を通して、園と保護者の絆を深める連絡アプリ

全国私立保育連盟推奨（総代理店）



「きっずノート」は長く使い続けていただけるよう

**初期費用0円・登録者数無制限**

すべての機能使い放題／

月額 **5,500円** (税込)

**無料体験実施中!**

お申し込みは  
こちら



ご相談・ご質問はお気軽に

きっずノートサポートセンター

TEL **03-3865-3886**